GX率先実行宣言

社会全体のGX加速化に向けて、GX製品・サービスの早期社会実装が極めて重要であることから、当社は自らのScope 1、2の削減取組に加え、これらの製品・サービスが有するGX価値の評価を通じてGX製品の社会実装に積極的に貢献することで、サプライチェーン全体でのGXを推進することを宣言します。

1.早期の社会実装に貢献するGX製品

当社は、以下に関連するGX製品の早期社会実装に貢献します。

a.	分類	GI基金支援技術を活用した製品
	対象	次世代船舶の開発
b.	分類	低炭素水素等
	対象	アンモニア
c.	分類	低炭素水素等
	対象	水素

2.具体的な行動内容

当社は、前項で選択した事項に関連して、具体的には以下の行動を推進することで、GX製品の早期社会実装と社会のGXに貢献します。

a.	次世代船舶の開発
対象行動	宣言対象製品の製造
概要	アンモニア及び水素を燃料とする次世代脱炭素燃料エンジンの開発、製造、社会実装を進めます。 アンモニア燃料エンジンの組立・試運転工場の新設と、アンモニア燃料供給設備の増強を図ります。

b.	アンモニア
対象行動	宣言対象製品の調達・購買
概要	アンモニア燃料エンジンの陸上試運転等に使用する燃料として、アンモニアを調達・利用します。 次世代燃料の実利用を通じて、アンモニアの需要創出と社会全体での普及・利活用の促進に貢献します。

c.	水素
対象行動	宣言対象製品の調達・購買

概要	水素燃料エンジンの陸上試運転等に使用する燃料として、水素を調達・利用します。 次世代燃料の実利用を通じて、水素の需要創出と社会全体での普及・利活用の促進に貢献します。

3.サーキュラーエコノミーの推進

当社は、サーキュラーエコノミーを推進しGXを実現するため、自らのサーキュラーパートナーズ（CPs）への参画や、製造業者と廃棄物リサイクル業者との事業連携を自ら進めるとともに、再生材の調達を積極的に検討することによって、新たな資源の使用や消費を最小限に抑え、既存の資源の価値を最大化する経済システムの構築を目指します。

4.温室効果ガス削減目標の設定

当社は、サプライチェーン全体でのGXを推進すべく、Scope3の削減に向けて以下の目標を設定します。また、第2項に記載した行動内容が、Scope3の削減に対してどのような効果があるかを以下に示します。

※ 第2項に記載した行動内容がScope1,2の削減に資する場合は、Scope1,2の削減に関して以下に示します。

a.	次世代船舶の開発
削減対象	
目標年度	
基準年度	
目標削減率	
削減目標における選択対象の位置づけ	

b.	アンモニア
削減対象	
目標年度	
基準年度	
目標削減率	
削減目標における選択対象の位置づけ	

c.	水素
削減対象	
目標年度	
基準年度	
目標削減率	
削減目標における選択対象の位置づけ	

5.GX製品の社会実装促進に向けた目標の設定

当社は、前項に掲げた削減目標に基づき、以下の時間軸・定量的目標に沿って、第1項で選択したGX製品・技術及びそれらから派生するサービスの社会実装に貢献します。

a.	次世代船舶の開発
目標年度	
定量的目標	
選択対象に関する定量的目標の概要	

b.	アンモニア
目標年度	
定量的目標	
選択対象に関する定量的目標の概要	

c.	水素
目標年度	
定量的目標	

選択対象に関する定量的目標の概要	

6.適用範囲

当宣言は、以下の範囲まで適用されます。

適用範囲	自社単体

当社は、この宣言に基づいてGX価値を評価し、GX製品の早期の社会実装に貢献することで、サプライチェーン全体でのGXを推進してまいります。

2026/9/28

株式会社ジャパンエンジンコーポレーション

代表取締役社長　川島　健